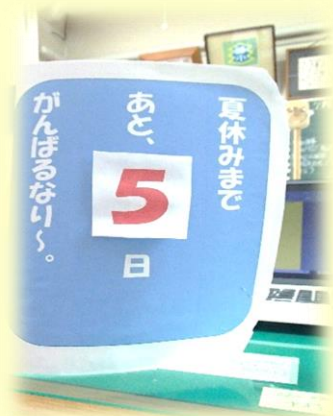


【夏休みまで】



夏休みまで、あと少し。

気もそぞろになりかけた子どもたちや、自分のために、何か楽しいことはないかなあと、いつものようなお面を作り、朝の旗振りで被ることにしました(6年生には「どうしたあ?」と突っ込みをいただきながら)。

そこで、反省をしたことが1つ。

それは、ついつい無意識のうちに、楽しい夏休みばかりを主役にしてしまい、夏休みまでのカウントダウンとしてしまったこと。

子どもたちの中には、(少数派かもしれませんが)お休みになってしまい、つまらないと思っている子どももいるのです。それに気づかされたの

はAさんとの会話でした。

Aさんは、わたくしの被るお面を見て「あと、5日しかないだね。私、学校のがいいのに」と、つぶやいたのです。

これを聞いてハッとさせられました。学校にかかわるはしくれの一人として、私の捉えは間違っていました(*_*)

心改めた私は、次の日から、「残念ですが、学校はあと〇日しかありません。がんばりましょう」となったのです。

そして、そんな言葉に「私もがんばるよ」と応えてくれる子どもたちもいて、朝から幸せな気持ちにされている私でありました。いつもながら、子どもたちは偉大です。

ランドセルを背負うのが億劫なBさん。帰りの時間なのに、なかなか腰があがりません。

それでは、校長先生とじゃんけんをしようと、誘いました。校長先生が勝ったらBさんが自分で持っていきます。校長先生が負けたら校長先生が玄関まで持って行きます。

渾身のじゃんけん一発勝負。

結果は…見事に私が負けました。

するとBさんが冷静に「力が入ると人はグーを出しやすいんだって。だから、私はパーをだしたの」だそうです。完全にしやられました。



上にも書きましたが、ついつい学校は子どもたちにとってイマイチなところ、という考えが知らず知らず私にもはびこっているのに気づきました。

まあ、よくよく思い返してみると、私も小さい頃は、夏休みのはじめはうきうきしていました。早く休みにならないかなあって思っていました。しかし、1週間くらい経つと暇で暇で「早く学校始まらないかなあ」と思っている子どもでもありました。

1学期も残すところ今日を抜かしてあと3日。子どもたちにとって、「早く学校にならないかなあ」って少しでも思ってもらえる学校にするために。まずは私があ頃の気持ちを取り戻さねば。

(しかし、しばしの休息は子どもも大人も大事です。夏休みは夏休みにしかできないことを存分やってくださいませ)最後になりましたが、1学期ありがとうございました。2学期もよろしくお願ひ致します。



← 久しぶりに花をいただきました。久しぶりで嬉しくて、校長室にしばらく飾っておきました。